

図の上部には、次の文がある。

姐己のお百

航海自慢のくわなや徳蔵大

晦日の夜玄海灘へ針路を向て

のりいだすにはたして洋魔うミ

ぼうづのあらわれいでしを切たる

いち念お百が躰に憑託りのちに

姐己と異名の悪婦二世徳蔵を

殺害し芸妓と化妾と変じ中

度捕縛となりしをり流罪の処刊

も島を破り名香輪采女と心を

あわせ秋田のいへを押領せんと

たくミし尻尾を見顕され入牢せしが

海坊主の守護によりて牢を破れり

嗚呼恐るべし美婦人の化て人を盡

魅すハ狐の妖に遙に増れり